

令和7年度学校経営計画書

石川県立金沢向陽高等学校
校長 辻 智子

1 教育目標

「個性豊かで品位があり、創造的で実践力のある人材」を育成する。

2 中長期的目標

(1)学校の現状

- ①募集定員の充足が課題となっており、令和7年度から本格実施となるいしかわ特別支援学校知的障害教育部門高等部の生徒との共同学習や交流を通して育まれている生徒の人間的成長をアピールするとともに、魅力的なインクルーシブ教育実践校であることを発信していく必要がある。
- ②学力も比較的高く、部活動等で自分らしさを発揮している生徒から、自己肯定感が低く、学習習慣が定着していない生徒まで多様な生徒が在籍しているため、一人一人の良さを認め、個別最適な学びや丁寧な働きかけを通して成長させていく教育活動が求められている。
- ③卒業後の進路を意識させるための機会や情報を提供し、自分と向き合うことから課題の発見・解決を主体的にできるように、一人ひとり丁寧な対応をする必要がある。また、地域の中で貢献できる力を身につけさせることで自信を持たせ、前向きかつ継続的に取り組む姿勢を育む必要がある。

(2)生徒に関する中・長期的目標

- ①目的意識を持たせ、自らの進路実現に向けて地道に努力させる。
- ②誠実さや思いやりの心、仲間と切磋琢磨しながら努力を継続する力を培う。
- ③共生社会において積極的に行動したり、提言を行ったりできる人材を育成する。
- ④健康・安心・安全・防災に対する知識を身につけ、自ら判断し行動できる力を育成する。

(3)教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ①学校長の学校経営方針のもとに、全教職員が成果と課題を共有し、より良い学校の在り方に向けて協力して取り組む。
- ②各主任や課長がリーダーシップを発揮し、組織的に学校運営に取り組む。
- ③全教職員が問題意識を持って生徒理解や授業の改善を図り、指導力向上のために絶えず研鑽を積み重ねる。
- ④服務規律を遵守するとともに対話による理解を重んじ、効果的な教育活動に取り組む。

3 今年度の重点目標

- (1) 基本的な生活習慣を確立させるとともに一人一人の生徒がタブレット端末を活用する個別学習や協働学習を通して、思考力・判断力・表現力を身につける授業を展開することで、生徒の学習意欲を喚起し、進路実現につなげていく。
- (2) 特別支援学校の生徒との交流やボランティア活動などを通して、年齢や性別、国籍や障害の有無などに関係なく、全ての人と助け合い支え合う共生社会を創り上げていく人材の育成に努める。
- (3) 生徒・職員ともに防災への意識と備えを高め、学校環境の整備および地域との協力体制を築くための学習や研修を通して、安心・安全な学校づくりを目指す。
- (4) 部活動のさらなる活性化を推進し、技能の向上を図るとともに、心豊かな人間性と社会性を身につけた生徒を育成する。
- (5) 生徒・保護者・地域の理解を得ながら、学校行事や業務の見直しを図り、組織的・協力的な対応に努めることで教職員の多忙化改善に取り組む。

